

# コロナ禍における女性のつながりサポート事業【富山県】

総事業費	4,612 千円
交付金額	2,306 千円

## 地域の実情と課題

- ①富山県内の令和元年度の**自殺の増加率**は、**16.7%**と**全国で最も悪い**数字
- ②人口10万人あたりの自殺者数を示す「**自殺死亡率**」の**全国の中で6番目に高い**数字
- ③自殺者数は、性別にみると、**女性の対前年度伸び率が10.0%**

## 目的・目標

項目	現状	R8(目標)
30～34歳の女性の就業率	79%(H27)	87.2%
管理的職業従事者に占める女性の割合	7.6%(H27)	14.0%
一般事業主行動計画を策定・提出済みの中小企業数	633社(R3)	450社程度

## 事業の特徴

コロナ禍のなか、これまで支援の手が届かず孤独・孤立の状態にあり不安を抱える女性に対してあらゆる面からサポートを行う

**NPO法人等の知見を活かした支援事業を行うことで、行政等の支援窓口や支援メニューの情報提供等を行う**

## 連携団体

- 女性支援（サロン交流活動、DV、見守り等）
  - 生活支援（フードバンク等）
  - 子育て支援（子ども食堂、ひとり親支援等）
  - 福祉支援（社会福祉協議会等）
- ほか

## 事業の効果

- ◆①サロンの開催 年8回
  - 参加者延べ207名、相談件数72件
  - ・相談内容：就活の悩み、子どもの不登校、更年期の不調等
  - 相談者(参加者)の年代：20代～60代
- ◆②NPO法人等での実施（相談業務・生理用品の配布等）
  - 委託先：23団体 相談件数：664件

## 今後の課題

新たにWeb広告による周知を試みたことにより、広告のクリック数やサロン参加者数の増加などからある程度効果があったと推測されるが、まだ対象者を掘り起こす必要がある。

# 事業の概要

## (1) サロンの開催

女性を支援するNPO法人等と連携し、カウンセラー等による専門相談を月に1回程度実施する。サロンにおいては、悩み相談のみならず、不安を抱えた女性が参加しやすいようなイベント開催も含む。

## (2) 関係NPO法人等からの支援 (生理用品等の購入、カウンセリングの実施)

県内のNPO法人等（地域活動団体23団体）について、NPO法人等が既存のネットワークを活用した女性支援を実施。



区分	限度額	委託件数	経費(具体例)
(1) 生理用品・衛生用品の配布を行うための物品購入費用 (2) 相談実施にかかる経費	(1)上限10万円 (2)上限10万円	23件	・消耗品費 (生理用品、マスク、消毒液のみ) ・賃金・謝金 (相談実施に係る人件費) ・旅費(相談実施に係る交通費)

